



新年のご挨拶

大衡村長 萩原達雄



明けましておめでとうございます。

新しい年の幕開けにあたり、希望に満ちた輝かしい一年になることをお祈りし、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様方におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年のお稲作況指数は、本村の位置する宮城県中部で「102」の「やや良」となりました。しかし、農業を取り巻く情勢は恒常的な農産物価格の低迷など、依然として厳しい状況の中にあり、生産者としての自助努力がより一層求められる時代になってきております。今後も、農家の皆様が安定して農業経営ができるよう、地域農業の更なる活性化を図りながら、引き続きできる限りの支援をしてまいります。

自治体の自主財源の確保と雇用機会の増加に繋がる企業誘致活動では、一昨年第二仙台北部中核工業団地への立地協定を締結した「CKD株式会社」が1月末に操業開始予定となっており、企業立地が進んでおります。今後も引き続き企業誘致活動に積極的に取り組んでまいります。

「ときわ台南」住宅団地は、108区画すべてが完売し、昨年末までに9割を超える区画が建築に着手、5割を超える世帯が既に在住まいになり、定住化が図られております。今後は五反田・亀岡地区や海老沢地区等の土地利用について検討してまいります。

国道4号の4車線化拡幅事業は、大衡中学校前から大崎市三本木境まで約5kmの現道拡幅事業化が平成28年度に事業採択され、現在は用地調査や物件補償調査と並行して自分らしく安心して生活できるまち大衡の実現に向け前進しております。今後もこれまで以上に良い福祉政策を実行してまいります。

本村の財政は、皆様方のご協力により、県内においても良好な状況となっております。特に自動車関連産業をはじめとした製造業などの企業立地が進み、自主財源比率が年々高まっております。今後も中長期的な視点に立った財政運営を行い、生活環境の整備や福祉の向上、基幹産業である農業振興のために、更なる取り組みを行ってまいります。

結びに、今年で村制施行130年目となる大衡村の限らない発展と地方創生の実現を目指し、諸施策を全力投球で推進し、村民の皆様が心身ともに健康で安心して暮らせる、「みんなで創る新たな万葉の里おおひら」が実感できるような村政に邁進してまいりますので、村政運営に尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

用地交渉が進められております。今後も早期着工に向けて、沿線自治体及び村内立地企業と連携しながら粘り強く要望してまいります。

村内の水害対策は、平成29年度に事業化された衡下地区善川周辺での遊水地の整備事業が、2022年度の完成に向け、現在は用地測量等の業務が進められております。村としても関係機関と連携を図りながら、適切な水害対策となるよう国に強く働きかけをしてまいります。

本村では、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりとして、18歳までの医療費助成や妊婦に対してタクシーへの乗車や紙オムツ、粉ミルクの購入に利用できる「万葉のびのび子育て支援券」の交付に加え、出産祝金と入学祝金の支給を行い子育て支援の拡充を図っております。また、認可保育所「ききょう保育園」の開園等、子育て中の保護者の皆様が安心して働ける環境を整えております。高齢者や障害のある方が元気で生きがいのある生活を送ることができるようタクシー乗車料金の一部を助成する事業は、1回あたりの使用枚数制限をなくし、より使い勝手が良くなるようにしました。また、昨年3月に、村内で初めての障害者福祉サービス事業所「わ・は・わ大衡」が開所し、誰もが地域で

